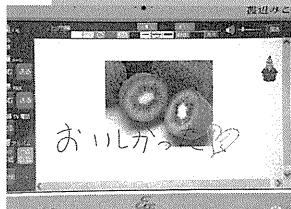


画面に直接触れて操作できるので、キーボードが苦手な高齢者にもわかりやすい



## 高齢者にワンタッチパソコン

情報環境デザイン研究所



写真に手書きの言葉を添えて、ワンタッチでメール送信できる

パソコンが苦手な高齢者に、タッチパネル方式の画面を使って簡単にメールやテレビ電話などを楽しむための「コミュニケーションツール」VOVIT。情報環境デザイン研究所(東京都文京区)が開発し、シニア社会学会(東京都渋谷区)と連携して都内の高齢者を対象にモデル事業を実施したところ、「画面に触れるだけで文字が書け、メールが送れるので便利と好評だったことから、高齢者のコミュニケーション支援サービスに生かせることとして9月から販売を開始する。

## サポートーとセットで展開

「VOVIT」は無線LANを利用。薄型テレビのソコンで、マウスやキーボードを使わず、画面上でタッチパネル操作するのが大きな特徴だ。

液晶パネルに手で直接文字や絵を書いて、そのままワンタッチでメールを送信できる。また、インターネット経由で無料でテレビ電話ができる「Skype」も組み込まれている。

モデル事業では、同じ団

情報通信技術活用に関するセミナーに取り組んできたシニア社会学会が、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の助成事業で実施。昨年11月下旬から今年2月月下旬にかけて、東京都江東区内の団地に居住する60歳以上の高齢者9人をモニターに、「VOVIT」の利用に際しては、パソコン操作に不慣れな高齢者を継続的にサポートする「サポートー」が存在するのも、利用における特徴の一つだ。

モデル事業は、高齢者のメールアドレスの設定や写真の取り込みなども事前にすべてサポートーが行うのがポイント。パソコン操作が苦手な高齢者でもタッチパネルの画面に直接触れただけで、メールを送信できる。そこで、サポートーとモニターが顔合わせ会を開き、お互いに自己紹介した上で、利用を開始した。キーボード操作が苦手で、サポートー操作が苦手で、サポートーの質も大切」とし、サポートー養成講座に登録している家族などにメールが送れるようになる。

今年度、北海道の北見市や東京都三鷹市などで、NPOなど協力して普及実験を続けるという。「高齢者の個人情報をどう扱うか」を統ける。専務取締役の森やす子さんは「画面上のアイコンも少なくて、直接画面に触れて文字を書いてメールなどを送れるので高齢者でも簡単に操作できる」と自信をみせる。

ア 蓦 分 位 未 施 家 居 施 10 ア 蓦 が 護 ビ 子 の で れ 帰